

第53回

沖縄県

芸術

OKINAWA
ART&CULTURE
FESTIVAL 2024

文化祭

響き合うアートの世界

響き合うアートの世界

第53回

沖縄県芸術文化祭

OKINAWA ART&CULTURE FESTIVAL 2024

主催：沖縄県・(公財)沖縄県文化振興会

共催：東村・東村教育委員会・(公財)九州文化協会・沖縄県文化協会

後援：沖縄タイムス社・琉球新報社・NHK沖縄放送局・沖縄テレビ放送・

琉球放送・琉球朝日放送・エフエム沖縄・ラジオ沖縄

【お問い合わせ先】

(公財)沖縄県文化振興会 TEL.098-987-0926

詳しくはHPをご覧ください

<https://www.okicul-pr.jp/kengeisai/>



書道・写真・美術 公募展

C O N T E N T S

主催者あいさつ 1

書道公募展

審査講評・各受賞者作品 2

書道公募展出展作品一覧 6

写真公募展

審査講評・各受賞者作品 8

写真公募展出展作品一覧 12

美術公募展

審査講評・各受賞者作品 14

美術公募展出展作品一覧 18

年度別展示部門入賞者一覧 20

書道・写真・美術 公募展

本展 ————— 入場無料

沖縄県立博物館・美術館

2024年10月12日(土)～20日(日)

初日10/12日(土)は展示時間10:00～20:00(入館は19:30まで)

■開館時間／9:00～18:00(入館は17:30まで)

※金・土曜日は9:00～20:00(入館は19:30まで)※10/15(火)は休館日

写真選抜展 ————— 入場無料

東村立山と水の生活博物館

2024年10月22日(火)～11月6日(水)

※月曜日・祝祭日は休館日

OKINAWA
ART&CULTURE
FESTIVAL 2024

令和6年度 沖縄県伝統芸能公演
重要無形文化財保持者等公演

日時：2025年2月16日(日)
場所：かでな文化センター



沖縄県知事

玉城 デニー

主 催 者 あ い さ つ

はいさい ぐすーよー ちゅーうがなびら

第53回沖縄県芸術文化祭の開催に当たり、御挨拶を申し上げます。

沖縄県芸術文化祭は、県民の多様な文化芸術活動を奨励し、文化の向上と発展を目的として、沖縄が本土復帰した昭和47年から毎年開催しております。

今年も多く県民の皆様から、写真・美術・書道の各部門合わせて、476点の作品が寄せられ、厳正な審査の結果、294点の作品が入選されました。

この度、沖縄県知事賞をはじめ、入賞された皆様並びに入選された皆様、誠にありがとうございます。心からお祝いを申し上げます。

入選された作品については、県立博物館・美術館に展示しておりますので、是非足をお運びいただき、多くの優れた作品を御覧いただければ幸いです。

また、本展終了後には、東村立山と水の生活博物館において写真選抜展を開催いたします。さらに本芸術文化祭では、舞台部門としてかでな文化センターにおいて、重要無形文化財保持者等による組踊や琉球舞踊の舞台公演を開催するとともに、組踊の楽しさを体感できるワークショップを実施します。

地域住民の皆様をはじめ多くの方々に、沖縄が誇る伝統芸能の魅力を存分に堪能していただきたいと思います。

沖縄県としましては、今後とも県民の皆様が沖縄の文化に誇りと愛着を持っていただけるよう、多様で創造力豊かな文化芸術活動を奨励・支援するとともに、広く芸術鑑賞の機会を提供してまいりますので、引き続き、皆様の御理解と御協力をお願いします。

結びに、沖縄県芸術文化祭の開催にお力添えをいただきました審査員をはじめ、関係者の皆様に厚く御礼申し上げ、挨拶といたします。



公益財団法人 沖縄県文化振興会

理事長 金城 賢

はいさい ぐすーよー ちゅーうがなびら

第53回沖縄県芸術文化祭公募展の開催に当たり、ご挨拶を申し上げます。

沖縄県芸術文化祭は、県民の皆様の多様な芸術文化活動の奨励と優れた芸術作品の鑑賞機会の提供を通して、県民文化の向上に寄与することを目的に昭和47年度から毎年開催しており、今年で53回目を迎えます。

今年度は、18歳から86歳までの沖縄在住の方々から476点の作品の応募があり、厳正なる審査の結果、294点の作品が入選となり、ここ沖縄県立博物館・美術館の企画展示室に展示されております。また、当館県民ギャラリーにおいては、審査員及び無鑑査の方々の作品に加え、今年度より新たに、各部門の審査員長より推薦された特別推薦作品が展示されております。

また、本展終了後、東村東村立山と水の生活博物館において写真作品の選抜移動展を開催することとしております。

さらに、重要無形文化財保持者等による舞台公演として、嘉手納町において、同町にゆかりのある組踊演目『孝行の巻』を披露することとしております。県民の皆様には、国の無形文化財である組踊と琉球舞踊をご鑑賞いただくことで、伝統芸能の奥深さを感じて頂けるものと考えております。

第53回となる今年の芸術文化祭では、例年と同様、個性豊かで魅力あふれる作品が数多く展示されております。ご来館の皆様には、個々の作品に込められた作者の鋭い感性、磨き抜かれた技術の粋を感じ取っていただければ幸いです。

沖縄県文化振興会は、「みせる・つなげる・ささえる・つくる・そだてる」を文化芸術活動支援の五つの柱として取り組んでおります。県民の皆様には、本芸術文化祭を通して芸術文化活動を生活の一部とし、身近な芸術文化を楽しむきっかけとなれば幸いです。

最後になりましたが、高い創作意欲と情熱をもって挑戦された応募者の皆様や、長年審査及び啓蒙に取り組まれている審査員の皆様、その他、沖縄県芸術文化祭の開催、運営にご支援を賜りました関係者の皆様に心より感謝申し上げ、ご挨拶といたします。

第53回 沖縄県芸術文化祭

書道公募展

書道総評

今年度の応募数は125点（漢字92、かな18、調和体・近代詩文書7、前衛3、篆刻5）で去年度より14点の減でした。

午前9時より午後4時半まで審査員11名により、緊張感漂う雰囲気の中、審査が行われた。実施要項の確認等審査前のミーティングを行い、応募作品を総見し、10時より審査を開始する。まず、入選作品を選ぶ鑑別作業を行い、審査員の過半数6名以上の挙手を得た112作品を入選とし、午前の審査を終了する。午後からは入選作品の中より入賞作品を決める審査へと進む。「賞候補」と声がかかった作品計20点（漢字12、かな3、調和体1、前衛2、篆刻2）について、3回の投票・挙手を経て、県知事賞一仲宗根司さん、県文化振興会理事長賞一謝名堂奈緒子さん、奨励賞一仲村冴子さん、屋宜由季奈さん、金城めぐみさんの5作品が選ばれ、さらに規定に従って豊平美奈子さんの作品が新人賞に決まった。6人の受賞者の皆様、おめでとうございます。この受賞を今後のさらなる飛躍に繋げるよう努力と精進を重ねてください。

今年も入賞作品はすべて漢字作品（調和体作品も漢字系）となった。応募数の8割が漢字作品であることを考えればこの結果は致し方ない事とも思いますが、漢字以外の分野の応募数の増加とより一層の頑張りを期待します。

尚、審査は公用で行われており、別室でビデオカメラ中継を見ることが出来ます。関心のある方は、足をお運び下さい。今後の書作の参考になる事があるかもしれません。

書道部門審査員長 小杉 紘南



沖縄県知事賞 「陳子昂詩」

仲宗根 司

県知事賞おめでとうございます。昨年の沖縄県文化振興会理事長賞に続き連続の快挙です。題材は中国初唐の詩人、陳子昂の詩で、詩意は、ふるさとを遠く離れ、山深く分け入り、荒涼とした風景の中ひとり旅する旅愁を詠ったもの。全紙横長に、短い行の流れが静かに始まり、左への転回がリズムカルにくり広げられていきます。練度のある線と線とが響きあい、左にはたらきかける潤渾大小の文字群の動きは、あたかも湧き出てくる感情の高ぶりを見るようです。行間や字の懷から現れた白は静謐な美しさを感じさせます。作品は気負いなく書かれていて、見る者を引きつけてやみません。さらなる精進と益々の活躍を期待します。

講評担当者 田名 洋泉



新人賞
「夏日南亭懷辛大
孟浩然」

豊平 美奈子

この作品、賞候補に残った漢字作品の中、一作だけ他の作品とはどこか違って見えた。観る者に強く訴えかけるためにつくり込んだ作品ではなく、書き手本人の気持のまま気負わず、肩の力を抜いて書く事自体を楽しんで書き進めたようにも感じられた。明るくさわやかな雰囲気、細線を駆使しリズム感あふれる楽しい作品になっている。おしゃれな造形でサラッと三行書きにまとめた構成力・技術力からは新人賞に収まり切らない力量を感じる。ただ、審査を受ける作品として観た時、細線が多いからか、あっさりし過ぎているように見え、何か物足りない印象になってしまった。墨量の配置を工夫し、多墨の所をもっと入れると奥行の感じられる作品になったと残念に思う。まだまだ、これからが正念場、今後も精進を重ねさらなる高みを目指して頑張って下さい。大いに期待しています。

講評担当者 小杉 紘南

奨励賞 「蔡大鼎詩」

仲村 冴子

上半分のリズムは心地よく墨の色の出方も無理なく書いていると思います。

下部の処理に力みを少々感じます。出だしが良すぎた故のことだと思います。この作品の良さはさりげなく感じさせる線の太細にあるように考えられるが、作品の後半にいたって意識が強くてすぎてリズムを狂わせたように感じました。

最後の部分三行については、さりげなくて好感の持てる書き方をしています。この様な処理することが作品に満ちあふれていくことを希望します。

非常によく出来た作品です。今後の作品を期待しています。

講評担当者 我喜屋 明正



講評担当者 運天 南陽



奨励賞 「蔡大鼎詩」

屋宜 由季奈

墨と紙の共演

目に飛び込んできた墨痕鮮やかな作品は、蔡大鼎の詩を大字三行細字二行に構成された行草体である。その墨色と色紙のバランスが絶妙で、その好感が賞へと結びついたと思われる。

大字三行は二行目「聴猿聲」の大胆な筆致から「涙欲潜難聲」の軽やかな筆致への移行が小気味良い響きをもたらし、蔡大鼎が進貢船にて八重山滞留中に詠んだその土地ののどかな風景、情景をかいま見る事ができる。

全体的に強靱な線でクレがあり、行間もすっきりして一貫性があるのに対し、後半細字二行はリズムをガラリと変え淡々と書きこなしている。欲を言えば「聲、櫂、暉」の最終縦画に少し変化があれば更に佳。

今後研鑽を積んで楽しみながら「書」と向き合う事を祈念する。奨励賞おめでとうございます。

沖縄県文化振興会理事長賞 「澤畔」

謝名堂 奈緒子

この作品の第一印象は、行間が明るくコントラストのはっきりした爽やかさです。大中小の文字群は、羊毛の長鋒を駆使した多彩な線で、文字の大小、適度なデフォルメ、肥瘦、疎密、潤濁などが織り交ぜられています。それが、計算しつくされたように絡み合い、韻き合い、行の揺れや心地良い余白の妙を醸し出し、見るものを引きつける清涼感溢れる作品となりました。

謝名堂さんは、過去に奨励賞2度、44回展では優秀賞を受賞し、県内外の公募展でも活躍中で、今後の活躍が期待されます。

ますますの精進を...

講評担当者 砂川 桂峰



奨励賞 「故郷の空」

金城 めぐみ

圧倒的に漢字作品が多い中、逸品の調和体作である。「故郷の空」の唱歌をモチーフに豊かな表現力で古典の技法をもとに、格調高く全体の構成がまとまっている。

「調和体」は日本固有のひらがなが加わる事で親しみが持て身近に感じられる。大いに広げてほしい分野である。

作者は、幼少期から書に親しみ、本格的に書の世界で活躍する存在である。日展入選、読売書法展理事の若手作家であり益々の活躍が期待される。究道無限、道の修行は忠誠心惜しむなかれ。

今後も文房四宝を駆使し高い次元へと全身全霊で挑んで欲しい。

講評担当者 中村 泉抄



書道公募展作品一覧

審査員出展作品

題 名	サイズ	種別	氏 名
無量寿	C	漢字・額装	大 城 碧 鳳
四時句	B縦	漢字・額装	我喜屋 明正
海國風高	A縦	漢字・額装	宮 本 峰 堂
大自然	B横	前衛・額装	濱 元 加 陽
師の言葉	B横	調和体・額装	眞喜屋 華泉
信 望 愛	D	篆刻・額装	東 江 順 子
乗風	全紙	漢字・額装	運 天 南 陽
木鶏	B縦	漢字・額装	砂 川 桂 峰
秋	B横	かな・額装	小 杉 紘 南
静謐	全紙	漢 字	田 名 洋 泉
黄庭堅詩	A縦	漢字・額装	中 村 泉 抄

無鑑査出展作品

題 名	サイズ	種別	氏 名
枕草子	B横	かな・額装	新 里 荘 香
勝宇嶽（蔡温詩）	全紙	漢字・額装	仲 舛 綾 霞
馬執宏詩	A縦	漢字・額装	伊 波 光 柳
蔡大鼎詩	A縦	漢字・額装	島 桃 華
王維詩	A縦	漢 字	上 門 馨 香
沖縄	全紙	漢字・額装	神 山 晴 柳
感懷	A縦	漢字・額装	西蔵盛 耕石
花溪客舎	A縦	漢 字	高江洲 南秀

特別推薦作品

題 名	サイズ	種別	氏 名
桃天	B横	漢字・額装	盛 島 清 倉
福寿海無量	A縦	漢字・額装	茅 原 南 龍

書道入賞作品

題 名	サイズ	種別	氏 名	市町村
沖縄県知事賞 陳子昂詩	B横	漢 字	仲 宗 根 司	沖縄市
沖縄県文化振興会理事長賞 澤畔	A縦	漢 字	謝名堂奈緒子	うるま市
奨励賞 蔡大鼎詩	A縦	漢 字	仲 村 冴 子	北中城村
奨励賞 蔡大鼎詩	A縦	漢 字	屋宜由季奈	沖縄市
奨励賞 故郷の空	A縦	調和体	金城めぐみ	八重瀬町
新人賞 夏日南亭懷辛大 孟浩然	A縦	漢 字	豊 平 美 奈 子	豊見城市

書道入選作品

題 名	サイズ	種別	氏 名	市町村
山月記	A縦	近代詩	砂川 瑞佳	沖縄市
晩に咸陽を渡る 他一首	A縦	文書	眞謝 幸代	名護市
秋興	A縦	漢 字	宮 城 律 子	沖縄市
晩	B横	かな	宜壽次 政代	うるま市
蘇東坡詩	A縦	漢 字	富村 朝浩	沖縄市
蔡大鼎詩	A縦	漢 字	島田 直子	うるま市
十四夜待月	A縦	漢 字	高 島 久 典	名護市
蔡大鼎詩	A縦	漢 字	宮城 みち子	中城村
戲答元珍	A縦	漢 字	新城 円香	宮古島市
初冬	A縦	調和体	知念 栄子	伊江村
蔡大鼎詩	A縦	漢 字	新垣 貴子	那覇市
春日登山	A縦	漢 字	金城 久弥	八重瀬町
蔡大鼎詩	A縦	漢 字	宮里 えり子	浦添市
蔡大鼎詩	A縦	漢 字	屋良 美香	沖縄市
蕭鄴草書の歌	A縦	漢 字	柊崎 ケイ子	浦添市
韓翃詩	A縦	漢 字	天久 美津枝	読谷村
寒山詩	A縦	漢 字	富山 史奈	那覇市
古意	A縦	漢 字	小橋川スガ子	那覇市
蔡大鼎詩	A縦	漢 字	古賀 日奈子	西原町
秋夜懷友	A縦	漢 字	大城 美季	浦添市
王維詩	B横	漢 字	知念 奈苗	那覇市
感時 他一首	A縦	漢 字	友寄 恵子	伊江村
竜女の祠順風を祈る(梅堯臣)	A縦	漢 字	小川 未加	那覇市
去越州	A縦	漢 字	下地 京子	宜野湾市
蔡大鼎詩	A縦	漢 字	幸 喜 薫	浦添市
寒山詩	A縦	漢 字	與那覇 律子	宜野座村

書道入選作品

題 名	サイズ	種別	氏 名	市町村
初夏即事 他二首	A縦	漢 字	清水 七子	西原町
溫庭筠詩	A縦	漢 字	東徳嶺 輔	南風原町
蔡大鼎詩	A縦	漢 字	富山 美智子	宜野湾市
晩に湖上に至る	A縦	漢 字	富村 夏子	那覇市
蔡大鼎詩	A縦	漢 字	内間 カズ子	浦添市
二月一日汎舟西溪	A縦	漢 字	川満 廣子	那覇市
蔡大鼎詩	A縦	漢 字	比嘉 さつき	沖縄市
唐詩	A縦	漢 字	上原 妙子	読谷村
蔡大鼎詩	A縦	漢 字	仲栄 真文子	沖縄市
船戸	A縦	漢 字	古堅 直子	伊江村
喜達梅季豹	A縦	漢 字	永山 千里	那覇市
寶帯橋	A縦	漢 字	池宮城 秀斗	那覇市
王維詩	A縦	漢 字	奥濱 喜美子	浦添市
霽夜 他二首	A縦	漢 字	上江田 敏博	豊見城市
陶淵明飲酒詩	A縦	漢 字	真栄田 義之	那覇市
岳陽楼	A縦	漢 字	宇良 樹希	名護市
蔡大鼎詩	A縦	漢 字	喜納 八重子	読谷村
まち （奥能登によせて）	B縦	前衛	岸 本 泰子	名護市
クラシック	B横	前衛	渡辺 真樹子	読谷村
京	A縦	前衛	山田 瑠美	糸満市
紅葉	A縦	調和体	川上 凧砂	名護市
冬の夜	A縦	調和体	金 城 清	南風原町
故郷	A縦	調和体	高 橋 直美	那覇市
海	A縦	調和体	嶺井 由起子	那覇市
清水比庵の歌(秋六首)	B横	かな	照屋 典子	南風原町
月影	B横	かな	喜友名 正子	北中城村
左千夫のうた	B横	かな	古波蔵 悦子	宜野湾市
桜花	B横	かな	外 間 匡 美	宜野湾市
天の川	B横	かな	仲宗根ひろみ	沖縄市
西行の歌「山家集」より十二首	B横	かな	與那覇 博美	那覇市
春日野に	B横	かな	仲里 美智子	宜野湾市
花みては	B横	かな	渡慶次喜代美	嘉手納町
秋の歌	B横	かな	喜納 竹子	与那原町
春の苑	A縦	かな	新垣 克子	那覇市
立田姫	B横	かな	久保田 朱里	うるま市
夜半の月	B横	かな	志田 美代子	浦添市
ほととぎす	B横	かな	饒平名真由美	那覇市
小倉百人一首より恋歌二首	B横	かな	當間 秀美	那覇市
君に待たるここに	B横	かな	赤嶺 弘子	うるま市
群れ立ちて	A縦	かな	福原 美枝	うるま市

題 名	サイズ	種別	氏 名	市町村
一葉	A縦	漢 字	桑 江 遼	那覇市
蔡大鼎詩	A縦	漢 字	渡久山 糸子	浦添市
瀬湖山寺	A縦	漢 字	宮城 菜々美	西原町
蔡大鼎詩	A縦	漢 字	徳里 美代子	嘉手納町
田園雜誌 其三	A縦	漢 字	長嶺 こず枝	宜野湾市
蔡大鼎詩	A縦	漢 字	川中 留美	浦添市
蔡大鼎詩	A縦	漢 字	金城 敏子	うるま市
漢詩	A縦	漢 字	神里 和子	南風原町
古風 （李白）	A縦	漢 字	新垣 恵津子	嘉手納町
出門	A縦	漢 字	翁 長 淳	那覇市
和康五望月有懷 杜審言 外一首	A縦	漢 字	金城 綾子	八重瀬町
寒山詩	A縦	漢 字	川上 タケミ	北中城村
由南昌至吉安舟行雜詩 その他一首	A縦	漢 字	上江洲アケミ	那覇市
蔡大鼎詩	A縦	漢 字	安里 弘子	沖縄市
柳州城西北隅種甘樹	A縦	漢 字	阿 部 好弘	伊江村
黄平偶 玉泉に至り、書を似て要え見る、 道を宿して之に趨き、馬上にて旧に感じて作る有り	A縦	漢 字	湧田 市子	沖縄市
偶成	A縦	漢 字	上原 貴子	那覇市
蔡大鼎詩	A縦	漢 字	川上 秀子	北中城村
蔡大鼎詩	A縦	漢 字	香村 春乃	読谷村
懐いを詠ず 董嗣成	A縦	漢 字	亀川 盛敏	西原町
蔡大鼎詩	A縦	漢 字	伊 佐 直 美	宜野湾市
感懷 他二首	A縦	漢 字	長堂 加代子	読谷村
蔡大鼎詩	A縦	漢 字	山城 清美	沖縄市
劉阮再到天台不復見仙子	A縦	漢 字	眞壁 恵子	宜野湾市
曹子建詩	A縦	漢 字	伊禮 かおる	豊見城市
湖上獨眺	A縦	漢 字	平良 祥太	南風原町
蔡大鼎詩	A縦	漢 字	大城 千春	宜野湾市
杜甫詩	A縦	漢 字	山城 篤和	那覇市
蔡大鼎詩	A縦	漢 字	崎浜 千鶴子	北谷町
清平調詞三首 其三	A縦	漢 字	金城 翔太	西原町
袁枚詩	A縦	漢 字	佐渡山 香	宜野湾市
劉阮再到天台不復見仙子	A縦	漢 字	知念 レイ子	伊江村
王安石詩	A縦	漢 字	上原 好美	読谷村
玉河新柳	A縦	漢 字	平井 理沙	豊見城市
蘇東坡詩	A縦	漢 字	米須 美奈子	宜野湾市
先憂後楽 和顔愛語	D	篆刻	國吉 一男	那覇市
騎虎之勢 和顔愛語	D	篆刻	山城 千恵子	那覇市
現世安穩 後生善処	D	篆刻	安里 涼子	那覇市
初志貫徹 古今無双	D	篆刻	上間 道子	那覇市
春風生福壽 道之以徳	D	篆刻	田頭 節子	那覇市

第53回 沖縄県芸術文化祭

写真公募展

写真総評

今年の写真部門審査会も、昨年同様3部門（美術・書道・写真）の先陣を切って、令和6年8月4日（日）の午前9時から、沖縄県立博物館・美術館の県民アトリエにて行われた。作品は昨年の241点から238点に減りましたが、技術的にもその内容も昨年以上に充実したものであった。

まず、審査を開始する前に審査員による総覧を行なった。今年は点数が多く、2回に分けて注意深く、それぞれ15分程の総覧を行なった。その後、1点ずつ15秒程度の審査を行なった。審査員のうち、過半数の6名以上が選定挙手したものが入選となる。その後、5名以下の作品の中から、入選相当の作品を数点昇格させた。ここで入選作品の総数が113点となり、午前の審査を終えた。

写真部門は、審査の様子を別室にてモニター画面を鑑賞することのできる公開審査をしているが、昼食に向かう最中、出品者の方に「あんなに短い時間で判断できるものですか？」と声をかけられた。当然の質問かもしれない。だが、意外に知られていないのだが、総覧には審査員それぞれが気を使う。その総覧の間に集中して、相対的に良いと思われる作品を記憶に止めるようにしている。詳細はここで見ているのである。

午後の審査では審査員の推薦する作品に付箋を使って投票する形式で絞り込んでいき、知事賞を始め理事長賞、奨励賞、新人賞を決定している。また最終選考まで残ったが、惜しくも受賞を逃したもののから数点を賞候補として選出して奨励した。

写真部門審査員長 仲本 賢

沖縄県知事賞
「墓前に集う」

与儀 栄太郎

与儀さんの「墓前に集う」の作品は、空から低く垂れ込む灰色の怪しげな雲の動きと、下には同じ灰色の規格化されたお墓が並ぶ寂寥とした霊園で、或る家族が手作りのご馳走を皿に盛り合わせている場面を大きく切り撮っています。

人々の衣装とお墓に添えた花の色は決して華やかな色だけではないにも関わらず、写真の中の人々が集まった部分が非常に温もりを感じさせ、人間界と霊界を上手に表現していると思います。

この写真の成功は多すぎない色使いと、小道の左側からレンズの広角域を使って小道をやや対角線状に配置して奥行き感を出したこと、これまでよく見られた墓所をテーマとした写真とは異なる斬新な視点で静と動を写し取ったことが写真に新鮮さを醸し出しています。

これからも他者の作品とは違う与儀さん独自の視点での作品作りに励んでください。おめでとうございます。

講評担当者 宇久田 全正

沖縄県文化振興会理事長賞 「気配」

新垣 允哲

マネキンはルネサンス以降多くの画家たちにとって、人間をより上手く描く道具であった。しかし、20世紀に入りデ・キリコの絵のように主役として存在感を示した。表現者とマネキンの密接な関係の誕生である。写真の世界においても、マネキンが醸し出す「異質な表情」は、人間になれないマネキンたちの冷やかな抵抗である。人間には演じられない表層の笑みや悲哀さは、人の視線に晒されてきた情感が人間以上に写しだされる。フォトジェニックであり、マネキンの勝利である。

この作品の「気配」というタイトルにもあるように、視覚では見えないがマネキンが放出する空気と消費時代の息吹を吸収し、我々の行く末を案じさせる作品になっている。私は瞬時に賞候補作品である「気配」を感じていた。

理事長賞、おめでとうございます。

講評担当者 浦本 寛史



奨励賞 「早く会いたいよ～」

安田 拓

思わず微笑ましくなってくる瞬間、親子3人の暖かな愛情に満ちた視線が、お母さんの大きなお腹に注がれている。

これから生まれてくる赤ちゃんはどんな子だろう？早く会いたい気持ちからお姉ちゃんは思わずキスで合図する、お兄ちゃんは恐る々そっと後ろから興味深々に覗きこむ。お母さんはそんな兄妹たちと大きなお腹に優しい眼差しと笑顔で包んでいる。

命の繋がりが、祝福を受けて誕生しようとしている時、ご家族にとって最も幸せな時間だと思う。

マタニティフォト(妊娠中に撮影する赤ちゃんとの記念写真)

おそらくこのお写真はスタジオでの記念写真かと思われるが、演出で構成された写真にしても、ご家族の素直な喜びと愛情の豊かさが記録された命の尊さと家族愛を感じさせる素敵な写真となっている。

講評担当者 根間 芳和



奨励賞 「TIME」

宮城 米子

「写真は観察する芸術だ」といったのはエリオット・アーウィットですが、TIMEはまさにそんな写真集です。

「時の経過がもたらすこと」というテーマを戦争、震災の痕跡や軍艦島に触れながら構築されています。最大の魅力は作者が感傷的な語り手ではなく、純然たる観察者に徹している点です。主観的に忠実な姿勢は、この無常を受け入れるかの如く、どのカットも平静さを保っています。それは、その場その場で自らの機微を丁寧に定着させていった証でしょう。

抽象的な瓦礫の表情(時の経過の象徴)の選択や、中間色の階調豊かな現像等、確かな技量も相まって、作者のレンズは外界の何かを通して、自身の内面を写す鏡となるのです。

この高い作家性も、自分の写真に真摯に向かい続けた「時の経過がもたらすもの」のひとつです。心より敬服いたします。受賞おめでとうございます。

講評担当者 又吉 亮太



TIME
YONEKO MIYAGI



新人賞 「恋模様」

儀間 生子

正直に言うと総見の時にはノーマークでした。しかし、講評会で作品のタイトルを聞いた時に思わず手を挙げてしまいました。

防波堤に座る人物の足だけが見えている構図。ほんの少ししか見えていない足からこの被写体の「思い」が伝わるように感じました。画面自体は色数も少なく、構図もシンプルです。この写真に「恋模様」と名づけることで画面が鮮やかに色づく感覚になり、ストーリーを感じる写真になったと思います。

同じ作品でも言葉でイメージがガラリと変わります。タイトルやステートメント(意見解説)などの言葉をつけることで、その作品にストーリー性などを宿すことができます。作品に作者の想いを託すことができるのです。

タイトルを聞いた後、この作品は「恋模様」にしか見えなくなっていました。今後も作者の活躍を期待しています。素敵な作品を見せていただきありがとうございました。

講評担当者 高野 大

写真公募展作品一覧

審査員出展作品

題 名	サイズ	種別	氏 名
記憶の中の残像I	150×106	単	東 邦 定
記憶の中の残像II	150×106	単	東 邦 定
智慧をもって見る時、人は苦しみから遠ざかり…離れる	100×150	2枚一組	浦本 寛史
2024 年春の湯水	48×64	単	宇久田全正
鼓動	85×55	単	根間 芳和
雪国	66.5×51.5	単	長 堂 哲
輪郭の記録	90×126	単	高 野 大
img_04207540	129.2×91.4	単	又吉 亮太
見上げれば	55×155	組	西原 けんじ
Mercator Panorama	100×150	単	仲 本 賢

無鑑査出展作品

題 名	サイズ	種別	氏 名
老師 laoshi	80×110	単	島 元 智
仕度	72×62	単	國吉 倅明
オジー・オバーのロックスピリット	55×73	単	玉城 健次郎
二人の世界	55×73	単	玉城 健次郎
沈黙思考	73×55	単	玉城 健次郎

写真入賞作品

題 名	サイズ	種別	氏 名	市町村
沖縄県知事賞 墓前に集う	61×72	単	与儀 栄太郎	那覇市
沖縄県文化振興会理事長賞 気配	113×85	組	新垣 允啓	豊見城市
奨励賞 TIME	25.5×32.5	写真集	宮城 米子	中城村
奨励賞 早く会いたいよ〜	80×69	単	安 田 拓	北中城村
新人賞 恋模様	62×52	単	儀間 生子	那覇市

写真入選作品

題 名	サイズ	種別	氏 名	市町村
心躍る霧の中に	64×53	単	本間 京子	糸満市
特別参加	53×64	単	本間 京子	糸満市
おしゃれ	92×77	組	前中 マサ子	沖縄市
屋下がリ	52×73	単	町田 宗昭	沖縄市
ぼくたちの季節	63×123	組	新垣 隆吾	与那原町
こだわりのサウンド	54×75	単	名嘉 久美子	豊見城市
夢みる少女	61×71	単	名嘉 久美子	豊見城市
紡織	110×58	組	金 城 聡	那覇市
思索中	65×50	単	金 城 聡	那覇市
空港待合室	45.7×56	単	比嘉 佐智子	浦添市
うららかな春の日	45.7×56	単	比嘉 佐智子	浦添市
驚掴み	122×87	単	具志堅 興清	名護市
良かったよ〜 パッチリ	61.5×72.5	単	松田 昌一	沖縄市
祭翁	76×57	単	仲本 昌雄	うるま市
電神	72×61.5	単	伊藤 俊雄	宜野湾市
子孫繁栄	53×64	単	眞志保 義夫	沖縄市
たかいたかい	51×62	単	又吉 全一	豊見城市
はにかむ少女	72×62	単	新垣 フミ子	南風原町
水上のパフォーマー	33×48.5	単	国吉 弘美	浦添市
モネの池	33×48.5	単	国吉 弘美	浦添市
神獅子の力	73×61	単	亀谷 長進	浦添市
クモたちの業	108×77	組	島本 孝一	沖縄市
利害	60×45	単	島本 孝一	沖縄市
岸壁の古い椅子	51.5×62.5	単	桃原 正憲	那覇市
競演	42.5×54.5	単	東門 晶子	沖縄市
浮かれぬ気分	80×105	単	川満 昭男	西原町
虚と実	48×33	単	宮城 米子	中城村
時空を超えて	48×63	単	楚南 富美子	那覇市

写真入選作品

題 名	サイズ	種別	氏 名	市町村
2024年皆既日食inイリノイ	48×63	単	楚南 富美子	那覇市
しやわせ(川柳作成に勤しむ100歳)	40×97	組	新垣 全哲	西原町
嘉陽層の褶曲	29.5×21.0	単	西銘 美佐子	沖縄市
ターヤガ?	51×62.5	単	當山 清裕	浦添市
至福のひと時	43×59	単	松岡 洋市	西原町
カップル	77.5×56.5	単	又吉 英男	浦添市
パパと一緒に	89.0×64.5	単	又吉 英男	浦添市
私はだーれ?えっ「尻」ません	64×53	単	金城 悦子	宜野湾市
あけぼの	60×75	単	大城 敏雄	与那原町
夜明前	54.6×67.5	単	島田 美佐子	うるま市
ばあばにおねだり猫	62×52	単	上原 恵子	那覇市
レトロな空間	64×47	単	知花 美江子	嘉手納町
折り	66×87	単	おおきゆうこう	南風原町
五穀豊穡	69×120	組	おおきゆうこう	南風原町
風の操り人形	90×80	組	金子 むつき	那覇市
水鏡のファンタジー	62.3×51.3	単	長嶺 貴子	那覇市
愛くるしい	56×80	組	新垣 喬	沖縄市
道	70×39	組	平良 克之	那覇市
光の道	61.5×72.5	単	具志 明	八重瀬町
祝屋敷と祝殿内	69×91	組	大城 勝子	糸満市
風待人	76×102	単	我喜屋 功	那覇市
愛を育んで	26.8×26.8	写真集	平田 善信	豊見城市
断絶	61.8×76.8	単	安田 正昭	那覇市
幻の聖域	102×77	組	仲道 幸子	うるま市
ママをひとりじめ	54.5×68	単	仲道 幸子	うるま市
雨の中の訪問者	51.5×66.2	単	親富祖 勝枝	浦添市
気配	68×78.5	単	比嘉 久美	南城市
もう歩けない	46.3×30.9	単	高嶺 正美	豊見城市
大丈夫か!	43.5×59	単	山田 恵美子	うるま市
マスク	62.5×51.5	単	山田 恵美子	うるま市
流れついた証言者	86×120	組	山城 和代	名護市
重なる時間	53×64	単	新里 ゆきえ	那覇市
願いを形に	53×64	単	新里 ゆきえ	那覇市
止まり木	29.7×42	単	我那覇 安男	那覇市
天空に舞う	74×60	単	長 濱 大	豊見城市
違いたい	112×81.5	単	山内 利江子	読谷村
私の見つけた「おきなわ」	76.5×147	組	山内 利江子	読谷村
おしりたべちゃうぞー	61.5×73.5	単	正木 虎夫	宜野湾市
雨の三者会談	67.5×59	単	砂川 悦子	豊見城市
未来型のビル	67×56	単	砂川 悦子	豊見城市

題 名	サイズ	種別	氏 名	市町村
のどかな時間	51.5×62	単	島袋 メリ子	宜野湾市
秋のキャンパス	51.5×62	単	島袋 メリ子	宜野湾市
跳べ!走れ!風を切れ!	90×134	組	喜納 朝駿	那覇市
蓮の咲くころ	150×90	組	喜納 朝駿	那覇市
瞑想	51×65	単	澤田 澄子	西原町
いつ熟するの?	51×65	単	澤田 澄子	西原町
嘉陽層の褶曲	21×29.6	写真集	米須 末子	沖縄市
あかばな一	61.5×72.5	単	仲程 梨枝子	那覇市
共存共栄	61.5×72.5	単	仲程 梨枝子	那覇市
陽だまり	63×84	単	幸喜 あかり	沖縄市
ある日の午後	84×63	単	幸喜 あかり	沖縄市
重機のある漁港	110×69	組	内間 秀太郎	沖縄市
祭りの日	84×63	単	宮 良 正 子	うるま市
手業	84×63	組	宮 良 正 子	うるま市
美しきハンター	72×89	単	菅 原 壮	沖縄市
弧の軌跡	80×62	単	城間 由美子	八重瀬町
豊年祭	90×120	組	玉城 律子	宜野湾市
終活	112.5×73.5	組	玉城 光子	北谷町
TIME TO TRIP	57×69	単	島袋 彩子	宜野湾市
くれなゐの春	65×90	組	大城 慶子	豊見城市
夜アッチャー	73×103	単	具志堅 一彦	宜野湾市
光彩	48.5×63.5	単	喜屋武 敬子	豊見城市
LIVES 沖縄島の動植物		写真集	喜屋武 敬子	豊見城市
釣り日和	63.5×77.5	単	新垣 允啓	豊見城市
浜辺の夕暮れ時	62×76	単	与儀 文夫	中城村
台北101	101×73	単	新城 直美	宜野湾市
舞台裏	64×86	単	儀間 生子	那覇市
辰年なり	73×91	組	喜友名 寛	沖縄市
命の対決	43×53	単	呉卓佳 NEO	豊見城市
追撃	43×53	単	呉卓佳 NEO	豊見城市
織姫はどこ	80×150	単	天久ゆういち	宜野湾市
雪日、瞬光	45×60	単	新垣 良子	那覇市
リフレクション	64.8×74.6	単	城間 富正	沖縄市
工場の煌めき	52×62.5	単	鈴木 康子	豊見城市
浮かび上がる黄金	36×27	単	仲里 真哉	浦添市
虚無	78×108	単	照 屋 明	浦添市
家路につく少女	62×45	単	安里 寿美	沖縄市
ブルー基隆	62×45	単	安里 寿美	沖縄市
はにかむ	75×55	単	崎 濱 慶子	那覇市
泥んこスタート	47×62.5	単	宮森 和夫	沖縄市

第53回 沖縄県芸術文化祭

美術公募展

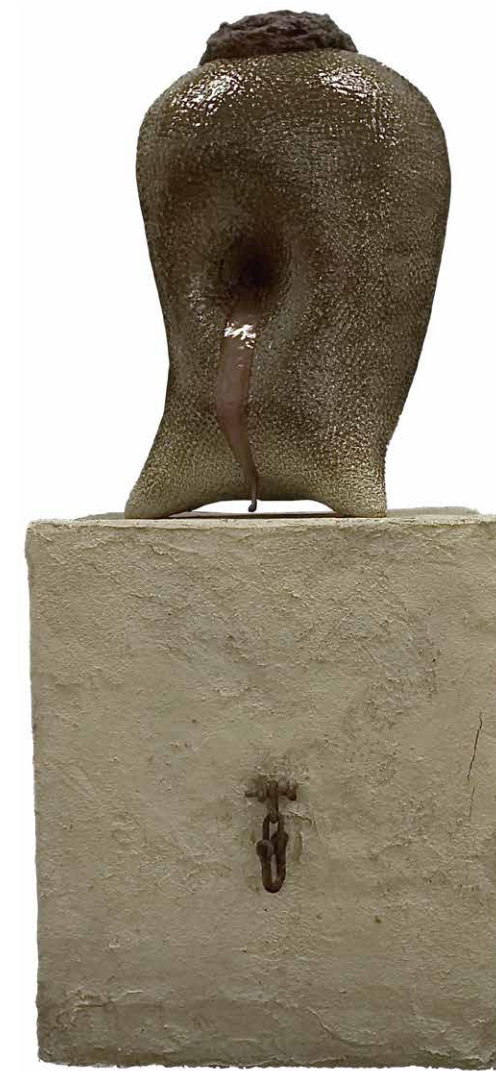
美術総評

コロナ騒ぎが一段落ついたと思っていたら、今年の夏は異常な暑さになっています。その様な中で県展の公募が行われましたが、応募作品数 113 点と多数の応募がありました。どのようなときでも皆さんが作品のことを考え制作に励んでいることにさすがの思いを新たにしました。

県知事賞の伊志嶺達雄さんは過去にも県知事賞を受賞される等、このところ毎年のように受賞され実力を遺憾なく示されています。理事長賞の伊元隆一さん、奨励賞の大城春信さん、比屋根清隆さん、いずれの方々も実力者ぞろいです。何年か前にも幾人かの人達で、賞を争っているような時期がありました。同じように力のある方々が切磋琢磨し、沖縄の美術会を盛り立てるシーンが見られるのは本当に嬉しいことです。

応募者の内訳は平面 104 点、立体 9 点で、その内平面 63 点、立体 6 点です。平面の出品者には一人で 2 点出品している人がありますが、これには 2 点が並ぶことによって作者の意図するところがより強く訴えられることもあります。ただ惰性で同じような作品を描いていることも往々にして見られ、かえって興味がそがれます。作品が小さいのを補おうとする、小さな作品は描きやすく思えるのでついつい何点か描いてしまうのかもしれませんが、作品の善し悪しは大きさに判断できるものではなく、質によるものだということを、心に強く思い描いて頂きたいと思います。この様に難を挙げるようなことを申しましたが、審査では、賞候補と審査員に上げられる作品が 17 点もあり正賞 5 点を決定するには何回も投票を繰り返して決めましたが、それぞれの作品の評価の差は、大きいものでは無かったと思われました。来年も皆さんの研鑽の跡が見られる作品にお目にかかることを期待しております。

美術部門審査員長 西村 立子

沖縄県知事賞
「塞がれた口」

伊志嶺 達雄

伊志嶺氏は、第 47 回展においても「弧宿の人」で県知事賞を受賞した。今回が二回目の受賞である。

陶による造形作品は土づくりに始まり幾つもの工程をへて焼成することでようやく完成に至る。大変な労力と時間を必要とし、常にひび割れや破損のリスクを伴うため一瞬も気を抜くことができない。

大型のコンクリートブロックの立方体を模した台座に陶のオブジェが鎮座し圧倒的な存在感で迫ってくる。それは、国際紛争の勃発や、人権抑圧、閉塞感、地球沸騰化に伴う自然災害、環境破壊などに対する作者の心の深層に蓄積した絶望感や焦燥感、怒りや悲しみの化身か、あるいは擬人化なのだろうか

作品の頭頂にこびり付く怪しい塊は抑圧の具現化であり、やがて内部へ浸透する。そして中央の穴から赤く流れ落ちる。それは悲しみを象徴する涙や血だと作者は語っている。作品において強いインパクトを発し効果的に作用している。

社会と人間の関わり、心の問題を造形化した作品であると同時に人々に現状の危うさを鋭く問いかけている。

講評担当者 屋良 朝彦

奨励賞

「忍び寄る危機」

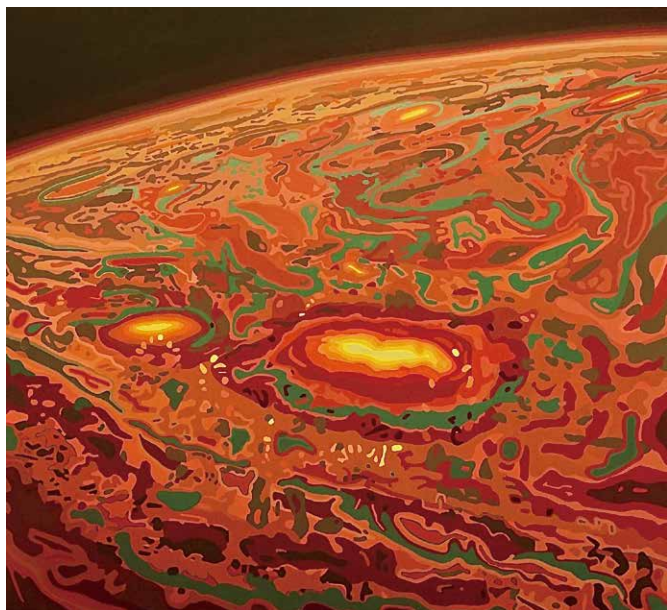
比屋根 清隆

画面を覆いつくす赤い色面に魅入られる。インパクトの強い赤の中にクレータであろうか、手前から奥へと無数の噴火口が燃え盛り又は燃えつくし、まさに近未来の地球の末路を見る。

昨今の世界各地に起こる自然災害の多発さと、人々の分断による戦争、紛争の勃発、国内の有事に備えて小さな島々に建設される基地、身近な足元にもひたひたと危機は忍び寄ってきている。ただ、画面の無数に見える水面が救いであり、希望をもたらしていると信じたい。大きなテーマを作品化するには、作者の豊かな感性としっかりとした力量に裏打ちされた表現力が求められる。

一昨年、昨年の受賞に続き今回の受賞とつながったことはその探求の証であり、真摯に作品に取り組む姿勢に心から敬意を表したい。

講評担当者 上原 成美



奨励賞

「潜熱－森－」

和宇慶 茜

和宇慶氏の作品は、琉球松を一定の厚さで裁断した木材を活用し、素材と向き合い、その木目や節から想像を膨らませ動植物を題材に制作した生命力のある素晴らしい作品である。自然が創り出した木の節を利用し、動物の眼や鼻に置き換えるなどの発想力は本人が持っている感性が優れている事を意味する。この制作はウッドバーニング(木を焦がして絵や模様を描く技法)の手法を活用している。また、下書きにコーヒーを活用し、濃淡による表現は単色ではあるが、深みのある空間を感じさせ、更に「はんだごて」で効果的に表情を描いた作品である。

他の公募展での受賞や個展なども開催するなど意欲的な作家であり、創造の広がりは期待と驚きとなり、今後の可能性に繋がると感じた。継続による制作は新たな領域と感性の開放となる。

今回の作品は、審査の段階で賞候補として推薦され、独自の手法や表現作品として奨励賞となった。今後の制作に期待したい。

講評担当者 赤嶺 雅



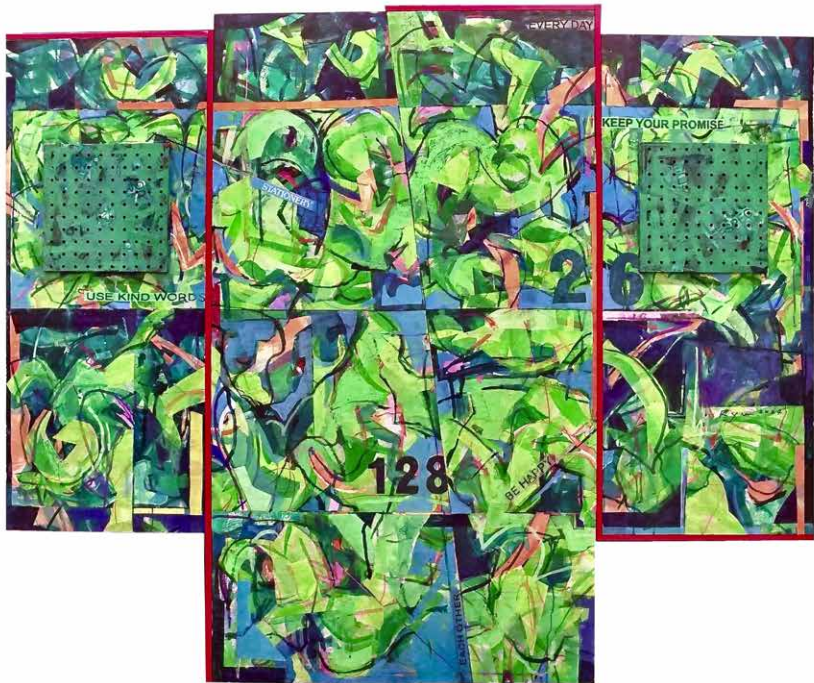
新人賞

「進撃の恐竜の発言力」

与那覇 俊

アールブリットで独自の世界観を表現する作家である。SNS 上や街の中での溢れる言葉が彼のボキャブラリーとイメージが共に増幅し大作の画面で乱舞する。ウチアタイ（心に響く）する言葉と造形が視る人を立ち止まらせ食入のように見入るであろう。街を俯瞰しながらスージグァー（小路）や迷路に入っていく様にマクロとミクロの彼独自のエネルギー溢れる表現世界を展開している。新人とは思えないほど公募展での入選歴が多数あり、沖展、「岡本太郎現代美術賞(TARO 賞)展等に入賞する程の実力がある。会場にてゆっくりとご覧頂きたい。

講評担当者 佐久本 伸光



沖縄県文化振興会理事長賞

「緑のざわめき R-2」

伊元 隆一

既存のキャンパスの規格にとらわれず、変形、支持体の作品は、ダイナミックで存在感がある。表題の R-2 という語尾は令和年度 2 作品目の制作経緯を記している。

ペインティング、ナイフ、平筆の勢いのあるタッチが幾重にも重なる面、線が独特な空間を形成し、色彩効果と相まって、豊潤な画面を構築している。

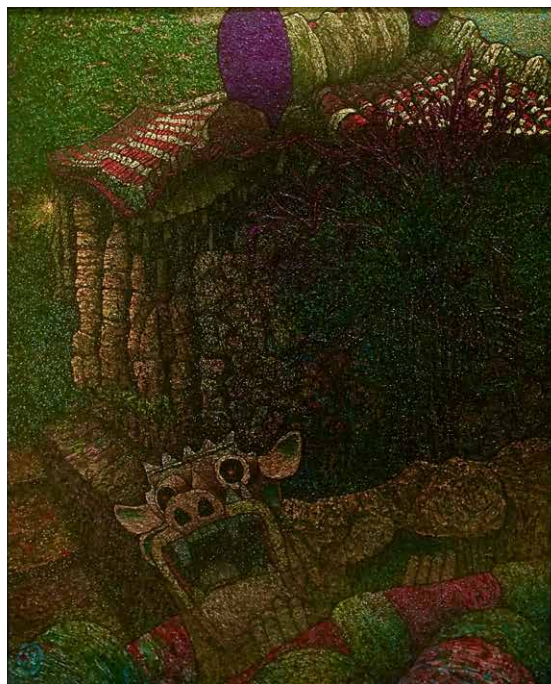
主題に沿った自然色、緑の濃淡が青系統色との配色の効果が生じた。帯状の赤線はフレームの原形を留めるとともに引き締まった緊張感を与える。中央画面を斜めに分割したことで生じた 13 の画面は建築物(壁画)にも見てとれる。また、有穴ボードは塞がれ、空気はよどむ。分割されることによりさらに二極性帯びた画面は作品の軸となっている。

今日の社会の疲弊と分断の象徴として受け止められ、分断を断ち切るために、人々がしたたかに生き、寛容と融合を堅持し続けたいものだ。

USE KIND WORDS=思いやりのある優しい言葉かけのコラージュが心にひびく。

未来思考の展開を賞賛したい。

講評担当者 宮里 昌信



奨励賞

「平安座島のシーサー」

大城 春信

これまでも、この作家の公募展出品作品を多く見る機会があった。ペインティングナイフワークと見える重厚な点描技法で描き出した、沖縄の原風景の世界。その一貫したテーマと技法によって、作家は様々な構築を試み、時には、半抽象的構成による試行をも、見た記憶がある。

今回の作品は、審査会初めの総見の時点から目を引く力が在った。

これまで以上に絞り込んだ感のあるクローズアップの構成。大らかに施されたデフォルマシオン。ブルーグリーンの影の豊かな深み。そこから浮かび上がる形態に移ろう、暖色の静やかな光のグラデーション。それらがつながり合い、美しい色彩空間が実現された。

単なる風景画に留まらず、風土に寄せる内なる精神性をも、見る我々は享受し得ようか。

受賞への賛と共に、変わらぬ制作への情熱を期待します。

講評担当者 大城 譲

美術公募展作品一覧

■審査員出展作品

題 名	サイズ	種別	材 質	氏 名
夜明け前	97×128	平面	ミクストメディア	仲本 和子
海のかたち	162×194×3	平面	アクリル	上原 成美
抗・希求	147×50×11	平面	板・アクリル・彩色	大 城 讓
潮流のラビリンス	162×130	平面	アクリル・キャンバス	佐久本 伸光
潮だまり	160×160×5	平面	染色・画成紙	宮里 昌信
わー	250×130	平面	ミクストメディア	山川 さやか
OKINAWA	120×160×10	平面	ミクストメディア	屋良 朝彦
大気の教える事	95×150×2	平面	アクリル	與那嶺 芳恵
窓外	80×53	平面	日本画	西村 立子
夢の狭間	93×121	平面	紙・顔料インク	赤 嶺 雅

■無鑑査出展作品

題 名	サイズ	種別	材 質	氏 名
黒い森	180×180	平面	油彩	平川 宗信
是空	164×132×4	平面	油彩・その他	鶴 見 伸
Angel.	104×147×7	平面	アクリル	知念 秀幸
地相 2024	158.5×114×4.5	平面	アクリル	與那覇 勉

■美術入賞作品

題 名	サイズ	種別	材 質	氏 名	市町村
沖縄県知事賞 塞がれた口	75×45	立体	陶器	伊志嶺 達雄	名護市
沖縄県文化振興会理事長賞 緑のざわめき R-2	163.5×198	平面	アクリル	伊 元 隆一	読谷村
奨励賞 平安座島のシーサー	162×130	平面	油彩	大 城 春信	那覇市
奨励賞 忍び寄る危機	180.5×198.7	平面	アクリル	比屋根 清隆	沖縄市
奨励賞 潜熱一森一	186×40.5	平面	琉球松コヒー	和 宇 慶 茜	うるま市
新人賞 進撃の恐竜の発言力	183.1×184.4	平面	油性ペン	与 那 覇 俊	豊見城市

■美術入選作品

題 名	サイズ	種別	材 質	氏 名	市町村
沖縄 Old Denim Textile	84×119	平面	アクリル	福 島 弘子	那覇市
ファンタジー	153×189	平面	油彩	髙 原 武子	嘉手納町
なかゆくい	140×173	平面	ー	仲本 潤一郎	沖縄市
紅い花	107×77	平面	油彩	伊 芸 匠 志	うるま市
平和へ繋げる	165×197	平面	アクリル	仲 座 包子	中城村
記憶と徴候	81×62	平面	押し葉(クロトン)	伊是名 教子	南風原町
椎のこずえ	27×70	立体	鉄	西 田 有 紀	那覇市
不確立の球	46×74	立体	鉄	酒 井 貴 彬	那覇市
波音	136×168	平面	油、アクリル	津波古 政廣	恩納村
triste	116×184	平面	アクリル、紙、 パステル	石原 美智子	与那原町
彩海	196×164	平面	油彩	八 木 洋 子	うるま市

■美術入選作品

題 名	サイズ	種別	材 質	氏 名	市町村
風を待つ	130×162	平面	油彩	渡久地美智子	読谷村
ニライカナイ	168×143	平面	油彩	大 田 隆男	北中城村
心もよう	164.5×134	平面	水彩絵の具、 アクリル	渡久地利江子	西原町
光溢れる part1	92.4×74.1	平面	透明水彩	玉 城 光 江	西原町
光溢れる part2	92.4×74.1	平面	透明水彩	玉 城 光 江	西原町
斜光	67×60	平面	油彩	高 嶺 伸	那覇市
うたき	95×120	平面	油彩	狩 俣 正	豊見城市
GW44	46×63.5	平面	アクリル	高 江 洲 義 寛	那覇市
冬の深み -The Depths of Winter-	125×185.5	平面	アクリル	Kate O'callaghan	恩納村
Pixel_No_112	72.7×72.7	平面	アクリル画	Takahiro Morine	うるま市
躍るカーラ	51.4×73	平面	紅型染め、 麻布、顔料	相 田 あゆみ	与那原町
天才暗号神様統一連合政府	131×163	平面	油彩	宮 城 和 邦	大宜味村
Repeated reset	104×73.5	平面	デジタル印刷	饒平名 飛鳥	那覇市
女神の逃亡	104×73.5	平面	デジタル印刷	饒平名 飛鳥	那覇市
ミーフガー(久米島)	122×97	平面	水彩	崎 野 欣 二	那覇市
AKINAI(春夏冬)	83.2×153.4	平面	水彩、アクリル、 鉛筆	大 橋 幹	那覇市
沈黙	178×181	平面	アクリルコラージュ	砂 川 恵 光	浦添市
静寂な時	72.7×91	平面	油彩	上 原 節 代	うるま市
懐れる「悠久からのベア」	80.3×116.7	平面	油彩	下 地 玄 栄	浦添市
チョンドウ(成都)の裏通り	90×77	平面	油彩	権 田 律 子	糸満市
思い出のシャンハイ(上海)	90×77	平面	油彩	権 田 律 子	糸満市
自然の優しさを求めて	194×99	平面	油彩	伊 川 治 美	糸満市
SPACE STATION	103×72.8	平面	パステル	仲 里 都 貴 江	南風原町
はれーしょん	110×110	平面	角材、お花紙	上 原 進	南城市
刻 - 白い壁	186×93	平面	発泡スチロール	松 本 幸 昌	那覇市
天を睨む獅子	85×62	平面	デジタル	仲 村 研 太	那覇市

題 名	サイズ	種別	材 質	氏 名	市町村
包	102.5×72.5	平面	アクリル絵の具、 メタリックホイル	石 垣 初 美	うるま市
ショッピングセンター	166.5×135	平面	油絵	知 念 悦 子	北谷町
BLUE HUMANS	100×200	平面	インクジェットプリント	浦 田 健 二	糸満市
洋ラン・パンダ	98.5×83.5	平面	アクリル	新 里 学	浦添市
MONシリーズ 薄闇の廃墟から	43×50	立体	陶土	神 村 吉 次	那覇市
ガジュマル	150×120	平面	油彩	ジョーダン トニー	北谷町
悲喜交々	913×120	平面	アクリル	玉 元 優 江	与那原町
かくれんぼ	113.3×146.5	平面	油彩	喜 納 祥 子	沖縄市
糸と命	80×80	平面	アクリル	方 頌 怡 SOIE	豊見城市
新しい首里城	131×181	平面	油彩	大 城 善 満	与那原町
Reborn	113.4×146.8	平面	油彩	比 嘉 陽 子	南城市
心の腫瘍	29×21	平面	スクラッチボード	はらぐちともき	那覇市
ちむぐくる	80.5×80.5	平面	ボールペン	阿 達 英 里 香	国頭村
君真物	80.5×80.5	平面	ボールペン	阿 達 英 里 香	国頭村
おはよう.おやすみ	45.5×45.5	立体	陶	比 嘉 文 音	那覇市
誕生日	45×57	平面	シルクスクリーン	高 江 洲 萌	沖縄市
パパ帰らないの? ママお腹すいたよお。	186×187	平面	油彩	伊 禮 亮	嘉手納町
いつもの風景	75.5×60.5	平面	アクリル絵具	山 本 智 子	宜野湾市
潜熱一海一	191.5×40	平面	琉球松コヒー	和 宇 慶 茜	うるま市
覚醒	63×46	平面	パステル色鉛筆	漢 那 正	西原町
14才	110.5×90	平面	アクリル	平安座 圭五	那覇市
公園でみた景色	26.5×35.5	平面	鉛筆画	K o n o m u	那覇市
春キャベツ	77×187	平面	水彩	狩 俣 香 織	豊見城市
Color Flow	91×117	平面	アクリル・ ラテックス塗料	ロ ス リ サ	沖縄市
6月と街	80.3×68.3	平面	木版	安次嶺 勝江	西原町
ひらりゆらり	30×30	立体	夜光貝	高 橋 哲 平	那覇市



書道公募展

年度	回	県知事賞	優秀賞	沖縄県文化振興会理事長賞	奨励賞			新人賞
H8	25	島野 裕司	眞喜屋 美佐		上 地 徹	香 村 ナホ	比 嘉 良 勝	
H9	26	島 尚 美	中 村 裕 美		泉 朝 信	砂 川 榮	比 嘉 良 勝	
H10	27	中 村 裕 美	上 地 徹		新 垣 洋 子	砂 川 榮	浜 口 清 子	
H11	28	神 山 律 子	砂 川 榮		荻 堂 ひろ子	眞喜屋 美佐	与那覇 典子	
H12	29	神 山 律 子	玉 城 君 子		砂 川 榮	高江洲 朝則	眞喜屋 美佐	
H13	30	西蔵盛 英雄	運天 美代子		島 尚 美	長 浜 和 子	比嘉 千鶴子	
H14	31	比嘉 千鶴子	西蔵盛 英雄		金城 多美子	島 尚 美	眞喜屋 美佐	
H15	32	比波 さつき	我喜屋 文子		金城 多美子	高江洲 朝則	宮 里 朝 尊	
H16	33	上門 かおり	金城 多美子		高江洲 朝則	長 山 リえ子	比嘉 千鶴子	上 原 孝 之
H17	34	高江洲 朝則	志 村 京 子		安 里 友 子	金城 多美子	宮 里 朝 尊	稲 嶺 法 子
H18	35	上 原 貴 子	斉 藤 純 子		與那覇 律子	宮 里 朝 尊	田 頭 節 子	山 里 昌 輝
H19	36	田 頭 節 子	斉 藤 純 子		與那覇 律子	幸 喜 石 子	山 里 昌 輝	該 当 者 な し
H20	37	新 里 明 美	幸 喜 石 子		石 川 美 智 代	上 門 か お り	山 里 昌 輝	普 天 間 完 文
H21	38	仲 舩 由 美 子	幸 喜 石 子		仲 里 徹	渡 久 地 美 佐 子	具 志 堅 ナエ子	金 城 真 理 子
H22	39	上 門 か お り	山 里 昌 輝		渡 久 地 美 佐 子	謝 名 堂 奈 緒 子	石 川 美 智 代	喜 友 名 正 子
H23	40	金 城 真 紀 子	新 里 明 美		仲 舩 由 美 子	渡 久 地 美 佐 子	松 淳 子	松 川 美 智 子
H24	41	渡 慶 次 喜 代 美	石 川 美 智 代		與 那 城 千 恵 子	仲 里 徹	大 仲 春 奈	城 間 律 子
H25	42	仲 舩 由 美 子	上 運 天 春 菜		謝 名 堂 奈 緒 子	渡 慶 次 喜 代 美	田 頭 節 子	安 座 真 賀 子
H26	43	與 那 覇 律 子	仲 里 徹		喜 納 京 子	上 原 千 枝 美	天 久 美 津 枝	大 田 安 子
H27	44	幸 喜 洋 人	謝 名 堂 奈 緒 子		石 津 陽 子	仲 里 徹	田 頭 節 子	神 里 和 子
H28	45	眞 謝 幸 代	上 原 千 枝 美		上 原 貴 子	渡 慶 次 喜 代 美	田 頭 節 子	福 原 美 枝
H29	46	長 堂 加 代 子		島 津 和 美	神 里 和 子	新 垣 恵 津 子	當 間 秀 美	濱 川 綾 子
H30	47	伊 波 エツ子		仲 宗 根 司	田 頭 節 子	金 城 綾 子	喜 友 名 正 子	該 当 者 な し
R1	48	田 福 宏 美		島 津 和 美	宮 本 康 申	湧 田 市 子	當 間 秀 美	該 当 者 な し
R2	49	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止						
R3	50	知 念 一 正		仲 村 冴 子	天 久 美 津 枝	安 里 涼 子	平 良 祥 太	岸 本 泰 子
R4	51	伊 禮 かおる		大 田 安 子	金 城 久 弥	東 徳 嶺 輔	仲 里 美 代 子	該 当 者 な し
R5	52	伊 波 エツ子		仲 宗 根 司	長 堂 加 代 子	神 里 和 子	金 城 久 弥	與 那 覇 博 美
R6	53	仲 宗 根 司		謝 名 堂 奈 緒 子	仲 村 冴 子	屋 宜 由 季 奈	金 城 めぐみ	豊 平 美 奈 子

写真公募展

年度	回	県知事賞	教育長賞	優秀賞	沖縄県文化振興会理事長賞	県議会議長賞	市長会長賞	奨励賞			新人賞
S54	8	末吉 はじめ	嘉 納 辰 彦			田 中 澄 一	仲 宗 根 直	大 嶺 信 雄	上 原 健 次	小 谷 隆 男	
S55	9	大 嶺 信 雄	名 嘉 真 朝 健			上 原 健 次	比 嘉 清 眞	川 平 幸 雄	照 屋 忠	宮 平 秀 昭	
S56	10	嘉 納 辰 彦	大 城 喜 一 郎			原 田 欣 哉	上 地 完 徳	大 城 信 吉	隅 田 伸 之	久 田 友 福	
S57	11	該 当 者 な し	田 場 盛 雄			村 澤 仲 裕	久 田 友 福・大 城 信 吉	川 平 幸 雄	我 那 覇 生 守	新 里 和 子	
S58	12	比 嘉 朝 之	上 地 完 徳					大 城 信 吉	久 田 友 福	村 瀬 武 文	
S59	13	大 城 信 吉	中 村 正 文					知 念 清 市	久 田 友 福	宮 城 信 秀	
S60	14	屋 良 朝 栄		吉 直 新 一 郎				崎 山 佳 裕	比 嘉 朝 之	前 原 常 男	
S61	15	嘉 数 繁 光		大 城 幸 信				上 原 健 次	坂 井 和 夫	仲 米 政 雄	
S62	16	阿 波 連 勲		金 城 幸 彦				浦 本 寛 史	高 塚 勝 巳	新 田 健 夫	
S63	17	安 田 敬 子		末 吉 はじめ				伊 佐 美 砂	金 城 幸 彦	知 念 佑 子	
H1	18	牧 直 實		伊 芸 元 一				上 原 健 次	知 花 照 子	比 嘉 朝 之	
H2	19	嘉 数 和 子		比 嘉 睦 子				金 城 幸 彦	儀 間 真 人	名 嘉 真 朝 健	
H3	20	金 城 幸 彦		平 井 毅				大 川 修	翁 長 正 則	宮 本 伝	
H4	21	金 城 幸 彦		知 花 照 子				比 嘉 文 雄	宮 本 伝	山 川 有 元	
H5	22	松 門 重 雄		島 袋 正 然				伊 芸 元 一	上 地 キミ子	新 田 健 夫	
H6	23	登 野 城 安 則		祖 慶 良 勇				上 地 キミ子	仲 宗 根 直	平 良 克 之	
H7	24	富 平 実		伊 芸 元 一				上 地 キミ子	崎 山 洋 子	比 嘉 睦 子	
H8	25	上 地 キミ子		諸 見 里 光 子				金 城 一 史	山 城 正 雄	与 那 城 武 旭	
H9	26	染 矢 尚 武		松 門 重 雄				喜 名 朝 駿	友 利 孝 子	豊 島 貞 夫	
H10	27	知 名 信 子		染 矢 尚 武				瀬 良 垣 馨	平 良 克 之	眞 栄 田 久 嗣	
H11	28	平 良 幸 江		親 泊 秀 尚				阿 南 鐵 司	上 地 キミ子	与 那 城 壮 旭	
H12	29	中 山 興 也		波 平 常 則				石 川 敬 介	喜 名 朝 駿	當 眞 嗣 範	
H13	30	瑞 慶 覧 進		山 城 和 代				喜 名 朝 駿	祖 慶 良 勇	与 那 城 壮 旭	
H14	31	喜 名 朝 駿		山 城 盛 達				佐 久 田 尚 昌	長 堂 嘉 秀	宮 城 義 享	
H15	32	国 吉 倬 明		祖 慶 良 勇				翁 長 盛 武	添 石 幸 安	富 平 実	
H16	33	仲 村 千 佳 子		福 村 安 弘				小 渡 静 男	島 袋 弘	山 田 浩	松 本 達 子
H17	34	翁 長 盛 武		山 城 和 代				上 原 健 次	木 村 正 男	島 元 智	しんざとえいじ
H18	35	仲 村 千 佳 子		比 嘉 清 眞				仲 村 繁	小 嶺 朝 子	松 本 達 子	森 山 ひろみ
H19	36	辺 土 名 朝 功		吉 直 新 一 郎				比 嘉 清 眞	松 山 朝 雄	岩 城 禮 子	島 尻 郁 美
H20	37	吉 直 新 一 郎		比 嘉 清 眞				宇 栄 原 格	波 平 栄 宏	豊 平 信 則	泉 谷 壘
H21	38	添 石 艶 子		大 嶺 勝 美				南 研 作	西 原 けんじ	宮 良 文	比 嘉 正 栄
H22	39	島 元 智		国 吉 倬 明				新 城 直 美	高 野 生 優	比 嘉 清 眞	城 間 由 美 子
H23	40	島 元 智		島 袋 陽 子				比 嘉 清 眞	渡 久 地 政 修	宮 良 文	長 堂 哲
H24	41	山 内 弘 子		田 中 優 子				祖 慶 良 勇	島 袋 メリ子	福 盛 庸 夫	又 吉 国 夫
H25	42	砂 川 悦 子		新 垣 フミ子				泉 朝 順	木 戸 栄 里	大 嶺 白 栄	兼 島 正

写真公募展

年度	回	県知事賞	教育長賞	優秀賞	沖縄県文化振興会理事長賞	県議会議長賞	市長会長賞	奨励賞			新人賞
H26	43	山内 昌 昭		宮 城 米 子				羽 地 良 磨	山 内 弘 子	城間 由美子	原 国 政 裕
H27	44	稲嶺 もりみつ		山 内 昌 昭				宮義 洋 史	知 念 信 雄	大 川 盛 安	幸喜 あかり
H28	45	又 吉 英 男		眞栄城 浩				宮 城 米 子	城間 由美子	金 城 直 也	永 味 節 子
H29	46	宮義 洋 史			新 城 直 美			花 城 雅 孝	與儀 美奈子	我喜屋 功	親富祖 勝枝
H30	47	玉城 健次郎			大 城 敏 雄			砂 川 悦 子	喜屋武 敬子	名 嘉 元 希	天 久 昌 子
R1	48	添石 艶子			John H. Tien			安 田 正 昭	新垣 フミ子	城間 由美子	中 村 秀 雄
R2	49	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止									
R3	50	屋富祖 良敬			玉城 健次郎			名嘉 久美子	正木 スエ子	長 濱 大	島田 美佐子
R4	51	高 野 大			具志堅 一彦			与 儀 文 夫	宮良 正子	照屋 明	新里 ゆきえ
R5	52	山内 利江子			高 野 大			名嘉 久美子	崎 原 光 明	喜 名 朝 駿	陳 敏
R6	53	与儀 栄太郎			新 垣 允 啓			宮 城 米 子	安 田 拓		儀 間 生 子

美術公募展

年度	回	県知事賞	教育長賞	優秀賞	沖縄県文化振興会理事長賞	奨励賞			新人賞
S52	6	永 山 信 春	我如古 彰一			上 原 隆 昭	米須 敏 三 郎		
S53	7	米 須 敏 三 郎	尚 武			川 平 恵 造	比 嘉 良 二	屋 良 朝 春	
S54	8	永 山 信 春	米須 敏 三 郎			川 平 恵 造	比 嘉 良 二	与那覇 朝 大	
S55	9	与那覇 朝 大	喜友名 朝 紀			朝内 信二郎	新 垣 安 雄	瑞 慶 山 昇	能 山 宗 忠
S56	10	川 平 恵 造	青 山 映 二			新 城 剛	砂 川 喜 代	比 嘉 良 二	
S57	11	宮 城 和 邦	浦 崎 彦 志			上江洲 由 朗	川 平 恵 造	当 山 進	
S58	12	川 平 恵 造	和宇慶 朝 健			伊 本 隆 一	上江洲 由 朗	宮 城 孝 也	
S59	13	和宇慶 朝 健	屋 良 朝 彦			伊 本 隆 一	砂 川 喜 代	和宇慶 朝 健	
S60	14	上江洲 由 朗		比 嘉 良 二		鎮 西 公 子	仲 宗 根 清	山 内 盛 博	屋 良 朝 彦
S61	15	上江洲 由 朗		金 城 満		伊良部 恵 勝	金 城 準 子	宮 城 孝 也	
S62	16	島袋 喜代子		伊良部 恵 勝		金 城 準 子	知 名 久 夫	山 田 武	
S63	17	金 城 満		宮 里 顕		叶 英 樹	知 名 久 夫	屋 良 朝 彦	
H1	18	新 垣 正 一		屋 良 朝 彦		叶 英 樹	三 木 元 子	山 内 盛 博	
H2	19	宮 里 昌 健		長 嶺 斉		奥 原 崇 典	瑞 慶 山 昇	仲 村 春 孝	
H3	20	仲 里 安 広		新 崎 竜 也		奥 本 静 江	佐 久 間 盛 義	瑞 慶 山 昇	
H4	21	奥 本 静 江		知 念 秀 幸		知 名 久 夫	仲 本 清 隆	宮 城 和 邦	宮 里 昌 健
H5	22	知 念 秀 幸		池宮城 智 子		玉 城 正 明	知 念 盛 一	比 嘉 良 徳	
H6	23	又 吉 邦 華		比 嘉 良 徳		稲嶺 盛一郎	上 原 仁 輔	三 木 元 子	
H7	24	赤 嶺 雅		大 城 朝 康		叶 ひ で き	志 喜 屋 徹	花 城 勉	
H8	25	花 城 勉		宮 城 あすか		赤 嶺 雅	奥 原 崇 典	我 謝 弘 行	
H9	26	大 城 久 美 子		津 波 古 稔		新 垣 盛 秀	磯 村 茂	玉 城 正 明	
H10	27	松 本 妙 子		三 木 元 子		奥 本 静 江	西 平 賀 雄	根 間 智 子	
H11	28	永 原 達 郎		根 間 智 子		親 川 松 清	佐 久 本 米 子	堀 川 恭 昭	
H12	29	津 波 古 稔		豊 永 盛 人		安 里 充 広	小 橋 川 清 一	宮 城 和 邦	
H13	30	与那嶺 芳 恵		安 富 幸 子		大 城 久 美 子	叶 ひ で き	佐 久 本 米 子	
H14	31	山 川 さ や か		榎 井 昌 智		栗 山 絵 美 子	佐 久 本 米 子	宮 里 ユ キ 子	
H15	32	富 元 明 雄		与那嶺 芳 恵		佐 久 本 米 子	安 富 幸 子	山 川 さ や か	
H16	33	波 平 栄 宏		池 原 優 子		栗 山 絵 美 子	富 元 明 雄	宮 里 ユ キ 子	富名腰 ヨシ子
H17	34	池 原 優 子		富名腰 ヨシ子		上 原 は ま 子	河 原 圭 祐	安 富 幸 子	野 津 唯 市
H18	35	島 袋 洋		釘 本 成 行		仲 本 潤 光	平 川 宗 信	上 原 英 樹	濱 元 朝 和
H19	36	佐 久 本 米 子		橋 本 弘 徳		玉 城 正 明	城 間 義 夫	野 津 唯 市	宜 保 和 可 乃
H20	37	奥 原 崇 典		宮 城 翔 子		野 津 唯 市	太 田 成 美	上 原 英 樹	栗 山 ル リ 子
H21	38	普 天 間 実 佳		栗 山 ル リ 子		宮 里 友 三	上 原 義 正	玉 那 覇 英 人	宮 城 才 子
H22	39	仲 里 安 広		玉 那 覇 英 人		鶴 見 伸	宮 里 友 三	濱 口 真 央	並 里 幸 太
H23	40	鶴 見 伸		宮 里 昌 信		嵩 原 武 子	與 那 覇 勉	玉 那 覇 英 人	中 澤 将
H24	41	玉 那 覇 英 人		宮 里 昌 信		鶴 見 伸	伊 波 則 雄	與 那 覇 勉	金 城 知 美
H25	42	伊 波 則 雄		宮 里 昌 信		宮 里 友 三	具 志 堅 古 秀	中 澤 将	朝 妻 彰
H26	43	鶴 見 伸		與 那 覇 勉		北 山 千 雅 子	具 志 堅 古 秀	伊 波 則 雄	伊 志 嶺 達 雄
H27	44	山 城 道		與 那 覇 勉		仲 程 悦 子	金 城 恵 美 子	北 山 千 雅 子	饒 平 名 知 健
H28	45	北 山 千 雅 子		嵩 原 武 子		伊 波 則 雄	仲 程 悦 子	松 本 幸 昌	華 山 聖 作
H29	46	小 泉 ゆ り か			伊 波 則 雄	與 那 覇 勉	仲 宗 根 市 子	並 里 幸 太	齋 悠 記
H30	47	伊 志 嶺 達 雄			平 川 宗 信	與 那 覇 勉	仲 程 悦 子	仲 座 包 子	カガミ ジョージ
R1	48	齋 悠 記			福 田 直 樹	與 那 覇 勉	平 川 宗 信	松 本 幸 昌	浦 田 健 二
R2	49	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止							
R3	50	平 川 宗 信			鈴木 まこと	城 間 文 雄	砂 川 恵 光	伊 志 嶺 達 雄	棚 原 麻 里 奈
R4	51	與 那 嶺 勉			伊 元 隆 一	平 敷 傑	伊 志 嶺 達 雄	浦 田 健 二	比 屋 根 清 隆
R5	52	比 屋 根 清 隆			前 川 麗 香	伊 元 隆 一	城 間 文 雄	酒 井 貴 彬	くぎもと 潮 路
R6	53	伊 志 嶺 達 雄			伊 元 隆 一	大 城 春 信	比 屋 根 清 隆	和 宇 慶 茜	与 那 覇 俊